

令和 7 年 6 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

日 時	令和 7 年 6 月 2 0 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 3 0 分	
場 所	扶桑町中央公民館 講義室 1	
出席者	教育長 澤木貴美子	学校教育課長 陸浦 裕司
	教育長職務代理者 千田まち子	生涯学習課長 松原 薫
	教育委員 江口 夏世	学校教育担当主幹兼指導主事
	教育委員 千田 正仁	寺谷 裕良
	教育委員 熊崎 規恭	学校教育担当統括主査兼指導主事
	教育部長 仙田 剛宏	上田 勇人
議 題 及 び 結 果	2 協議事項	
	(1) 令和 7 年度 6 月 要・準要保護児童生徒の認定について	承認
	(2) 当面の諸課題について	
	3 連絡事項	
	(1) 指定外就学について	
	(2) 行事予定表について	
	4 その他	
	(1) 6 月定例会一般質問の報告について	

令和7年6月定例教育委員会会議録

日時 令和7年6月20日（金）

午前10時00分

場所 扶桑町中央公民館 講義室1

1 あいさつ

発言者	発言の要旨
指導主事	令和7年6月定例教育委員会を始めます。1. あいさつということで教育長先生お願いします。
教育長	おはようございます。本来であれば梅雨真っ盛りの時期ではありますが暑い日が続いております。熱中症の心配をしていますが、今のところは大きな報告はありません。今後も宿泊行事等を控えている学校が多くありますので、対応を丁寧にしていきたいと思います。本日もよろしくお願いします。

2 協議事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	2. 協議事項に進みます。（1）令和7年度6月要・準要保護児童生徒の認定について、お願いいたします。
教育課長	別紙1をご覧ください。6月認定分は小学校2名、中学校1名の合計3名の名簿で、理由につきましては認定区分欄に記載の通りです。5月分と合わせて、児童116人、生徒59人となります。以上です。
指導主事	何かご意見ご質問等ありますか。ないようですので、この件についてお認めいただけますか。
教育委員	はい
指導主事	続きまして、（2）当面の諸課題について、お願いいたします。
教育長	学校教育についてです。（資料を基に説明） 学校訪問について、何か気づいたことはありますか。
教育委員	「学びを委ねることを主にするのか」「しっかりと教え込むのか」が指導案に書かれていて、委ねるのであればどんな手だてで実施するのが明確だったと思います。その一方で、先生方の中にはグループで活動することを委ねると解釈している方もいるように感じました。委ねたいという方向の統一はできていると思いますが、その中身の解釈の部分の統一が必要だと思います。単元全体で組み立てた上で、この場面で委ねるという支援があるとよいと思いました。
教育長	生涯学習についてです。（資料を基に説明） 報告・連絡についてです。（資料を基に説明） 総合教育会議の内容について、現在の教育大綱の中に、文部科学省が出した教育振興基本計画の考えを入れて、メモをしておきました。こち

	らについて、ご覧いただき、7月の教育委員会でお考えを聞かせてください。
--	-------------------------------------

3 連絡事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	それでは、3. 連絡事項にうつります。(1) 指定外就学についてお願いします。
指導主事	別紙をご覧ください。記載の通り、申請がありましたので、ご報告させていただきます。
指導主事	(2) 行事予定表についてお願いいたします。
教育課長	学校教育について、お願いします。(別紙について説明)
生涯学習課長	生涯学習について、お願いします。(別紙について説明)
指導主事	行事予定について何かご質問等ございますか。
教育委員	ありません。

4 その他

発言者	発言の要旨
指導主事	それでは、4. その他にうつります。(1) 6月定例会一般質問の報告について、お願いします。
教育部長	6月定例会におきまして、5名の議員から一般質問がありましたので、質問及び答弁内容について報告します。 1人目は、山田議員からの質問です。小中学生の視力について、「更新するタブレット端末への工夫は。」と質問がありました。答弁といたしましては、「文部科学省の推奨するブルーライトのカット率30%以上を有するフィルムという条件をクリアしているものを購入する。」と答弁しました。 2人目は、佐藤議員からの質問です。小中学校のプールについて、「民間施設の活用や水泳指導の外部委託の考えは。」と質問がありました。答弁といたしましては、「民間施設の活用や外部委託により、施設の老朽化や教員の負担の対策となり、専門員による指導で子ども達の泳力向上になる。町内に水泳施設がないことから、貴重な授業時間を移動時間に費やし、水泳授業の委託料やバス料金などが必要となる。今後は、様々な角度から検討していく。」と答弁しました。また、「今後のプールの在り方、水泳授業の実施体制の方針は。」と質問がありました。答弁といたしましては、「維持すべきか、形を変えていくのか。計画的に修繕や改修工事等を施し、個別施設計画に沿って、当面は現状維持を保ちながら、安全で効果的な運用を継続していく。」と答弁しました。 3人目は、高橋議員からの質問です。「中学生が加害者となる重大事件が報道されているが、扶桑町で同様の事態が起きないように、どのよう

指導主事	な考えを持っているか。」と質問がありました。答弁といたしましては、「児童生徒の心の教育を充実させることが大切で、道徳の授業や行事など教育活動全般を通して、日常的に児童生徒の心を育てることに注力している。学校教育だけでなく、家庭・地域の方々の協力を得て推進していく。」と答弁しました。また、「児童生徒の自殺予防について具体的な取り組みは。」と質問がありました。答弁といたしましては、「児童生徒のもつ不安や悩みを取り除くことが大切であり、アンケート調査を実施し、心の状況を把握するように努めている。また、早期に異変に気付けるよう呼びかけ、異変を察知した場合は、学年、養護教諭、生徒指導担当者、管理職などチームで対応している。不安や悩みを持った児童生徒を認知したら、家庭と協力しながら取り除くようしている。」と答弁しました。 4人目は、片野議員からの質問です。中学校の部活動について、「地域クラブ活動の現状と展望は。」と質問がありました。答弁といたしましては、「ホームページで公表している地域クラブ活動推進プランのスケジュールどおり順調に進んでいる。現在地域クラブの第1号として今年4月にランニングクラブを創設し、児童生徒、高校生以上の地域ランナーも入り活動している。登録は50人を超えている。今後は、ランニングクラブでの課題を出し、地域展開の計画を見直していく。中学生も含めた多様な世代がスポーツ活動や文化活動に参加し、楽しく交流できる場を整えていく。」と答弁しました。 5人目は、兼松議員からの質問です。小中学校の熱中症対策について質問がありました。答弁といたしましては、「定期的に水分補給を促している。また、暑さ指数測定器で測定し、場合によっては活動の中止や内容変更などし、子ども達の健康と安全に配慮している。今年度から体育館には空調設備が完備され、より安全に教育活動が行えると考えている。」と答弁しました。以上です。 ご質問等ございますか。 ないようですので、6月定例教育委員会を閉じたいと思います。ありがとうございました。
------	--